

保健所以外からの理化学依頼検査結果

No	受付日	依頼品名	依頼の概要	検査項目	検査結果	依頼先	検体数	項目数
1	H13/6/15	ドーナツ油	使用しているドーナツ油の酸化状態を検査したい(業者の自主検査依頼).	AV POV	依頼品 AV :0.57 POV:1.6	一般	1	2
2	H13/6/20	ところ天	ところ天に虫らしい物が入っていると言う客の指摘により販売店が検査依頼.	鏡検	実体顕微鏡検査の結果、ところ天の海藻の一部と判断された.	一般	1	1
3	H13/7/12	異物	食品より異物が出てきたので検査してほしい.	電子顕微鏡によるX線解析 成分(%)	異物=クロム 19.6%, 鉄 80.4% 調理場で使用の金タワシ(対象)クロム 19.6%, 鉄 80.4%	教育委員会	2	4
4	H13/10/3	牛乳	生徒数名からの異味感の訴えに基づく原因究明	乳酸(乳酸%)官能検査	苦情品 0.01%未満, 対照品1 0.01%未満, 対照品2 0.01%未満パネラー5人による官能検査ではすべて異常なし	教育委員会	3	3
5	H13/10/16	キャベツ	市場監視で表面が白いキャベツが見られた. キャベツ表面の白い粉の成分分析を依頼.	Ca濃度	キャベツの葉を1時間1N塩酸で抽出後原子吸光法で測定. 依頼品:Ca濃度42ppm 対照品:Ca濃度22ppm	保健福祉局	2	2
6	H13/10/16	中国産椎茸	重金属の汚染調査	ヒ素 鉛 カドミウム 水銀 水分(%) 0.13ppm 0.4ppm未満 0.17ppm 0.008ppm 83.9% 原子吸光法 原子吸光法 原子吸光法 原子吸光法 重量法	保健福祉局	1	5	
7	H13/11/2	異物	調理過程で金属の破片が発見されたので、調べてほしい.	電子顕微鏡による X線解析 成分(%)	成分(%) FeCr Ni@ 異物 69 20 11@ 調理場で使用の金ザル(対象) 70 20 10	教育委員会	2	6
8	H13/11/20	白色固形物	洗浄機の中に生じた白い固形物の成分分析。(業者の自主検査依頼)	電子顕微鏡によるX線解析	成分(%) C:20, O:60, Ca:20	一般	1	1
9	H13/11/21	中国産椎茸	重金属の汚染調査中国産椎茸の重金属汚染があったとの報道による実態調査.	重金属 ヒ素 鉛 カドミウム 水銀 水分 中国産生椎茸 <0.01ppm 0.09ppm 0.65ppm 0.002ppm 87% 中国産乾椎茸 0.05ppm 0.11ppm 0.83ppm 0.014ppm 10% 日本産生椎茸 <0.01ppm 0.05ppm 0.30ppm <0.001ppm 91% 日本産乾椎茸 <0.01ppm 0.06ppm 0.59ppm 0.016ppm 7.3%	保健福祉局	4	20	
10	H13/12/13	異物	給食用皿に白い固形物が付着していた. 給食室で使用している石けんと比較、及び毒物試験をしてほしい.	pH 毒物試験 FTIR(赤外吸収スペクトル)	pH 10.6, ヒ素(-), シアン(-) 水銀(-) 赤外吸収スペクトルの検査で異物と参考に持ち込まれた固形石けん, 粉末石けんはほぼ同一であった.	教育委員会	3	6
11	H13/12/13	養殖トラフグ	養殖魚の寄生虫駆除の目的で使用されるホルムアルデヒドの検査依頼.	ホルムアルデヒド 寄生虫	筋肉 皮 えら 肝臓 消化器 (-) (-) (-) (-) (-) えらよりヘリウムを約10匹検出	一般	1	6
12	H14/1/22	イカ	給食において違和感のあるイカがあった.	揮発性塩基性窒素 ヒスタミン(mg%)	揮発性塩基性窒素 ヒスタミン 20.5未満	教育委員会	1	1
13	H14/1/16	だし巻き	ポリリジンの実態調査	ポリリジン(g/Kg)	0.25	一般	1	1
14	H14/2/4	牛乳	牛乳の成分分析 給食用の牛乳に異風味があるとの訴えによるもの	成分規格 比重 酸度(乳酸) 無脂乳固形分 乳脂肪分 官能試験 苦情品 同一ロット冷蔵保存1 1.032 0.11% 9.0% 4.0% 異常なし 同一ロット室温保存2 1.032 0.11% 9.0% 4.0% 異常なし	教育委員会	3	11	
15	H14/2/25	ミンチ肉中の異物	購入したミンチ肉を用いてマーボーナスを作って食べたところ、異物が幾つか出てきたので調べてほしい.	鏡検	異物を洗剤および超音波にて洗浄後、実体顕微鏡で検査した結果、編目構造のスポンジ様樹脂が観察された。ミンチ肉販売用のトレーに敷かれているスポンジシートであった	一般	1	1
16	H14/3/26	冷凍エビ	輸入冷凍エビより抗菌性物質が確認されたとの報告によるモニタリング検査依頼.	抗菌性物質:ニトロフラゾン, フラゾリドン, ジフラゾン, クロラムフェニコール, チアンフェニコール	ベトナム産2, インドネシア産3, インド産3, スリランカ産1の計9検体を検査した結果、すべて定量下限値以下であった.	保健福祉局	9	45